

■新潟県立こども自然王国（柏崎事業所）

■住 所：新潟県柏崎市高柳町高尾 30-33

■TEL：0257-41-3355

■H P：<http://www.garuru-kururu.jp/>

■FAX：0257-41-3315

■施設概要：高柳町の地域づくりの拠点として全国で3番目に設置された定員180名の温泉宿泊施設を持つ大型児童館。体験工房、野外園地、キャンプ場、スキー場などを有し、豊かな自然を活かした体験プログラムや地域と連携した伝統文化体験など週末は家族向けに平日は学校団体向けに提供している。県内のセンター児童館として研修会も実施している。

■発 注 元：柏崎市

■受 託 年：平成17年4月～管理運営・プログラム企画、平成21年4月～平成24年3月第一期指定管理者、平成24年4月～平成29年3月第二期指定管理者、平成29年4月～令和4年3月第三期指定管理者、令和4年4月～令和6年3月第四期指定管理者、令和6年4月～第五期指定管理者として現在に至る（～令和11年3月迄）。

■職員人数：常勤16名、非常勤14名、冬期季節雇用6名



こども自然王国・本館



遊具広場



キャンプ場

●施設の特徴

新潟県立こども自然王国は、柏崎市高柳町にある宿泊型大型児童館である。屋内には宿泊棟、温泉施設、体験室、プレイホール、屋根つき広場、レストランなどがあり、屋外には大型遊具、バーベキュー広場、キャンプ場、炊事場、自然散策路、自然工作館など設備されている。また、冬には高柳スキー場の管理運営も実施している。

こども自然王国は、「遊ぶ」「学ぶ」「泊まる」事のできる全国でも数少ない児童館である。（野外活動施設と宿泊施設を併せ持つ児童館は全国で3か所である。）周囲は里山（田んぼや森林）、黒姫山、鯖石川など豊かな自然に恵まれており、高柳の自然と文化を体験的に学ぶことのできる様々なプログラムを用意している。専門の指導スタッフである児童厚生員（プレイリーダー）が常駐し、質の高いプログラム展開が可能であり、平成7年の開館以来毎年およそ40,000人の方にプログラムを体験していただいている。又、宿泊を伴った自然教室などでも多くの学校団体から利用いただいている。

こども自然王国の附帯施設、ファミリー向けの高柳スキー場は、本館から車で約5分の距離に位置している。全長424mのペアリフトが備わったゲレンデは、緩やかな斜面が広がり、初心者・シニアの方でも安心して滑走することができる。また、ソリ専用コース・雪遊びコーナーも整備されており、スキーなどができない子でも十分楽しめること間違いなし。レストランの営業も専門スタッフで行い、豊富な季節限定メニューを取り揃え提供、テイクアウトできる商品も販売している。



●業務経歴

- 1991～1992 年：ふるさと開発協議会アドバイザーとして、滞在型交流観光における自然と共生する地域づくりのアドバイスを行う。
- 1991 年：こども自然王国、基本構想の作成。
- 1992 年：遊び方ソフト開発。
- 1997～1999 年：じょんのびツーリズム、モデル構想の作成。
- 2000～2004 年：じょんのびガイドマップの作成。
- 2005 年度より、市町村合併に伴い、管理運営業務を委任される。
- 2009～2012 年度：指定管理者（第一期）として業務に当たる。
- 2012～2016 年度：指定管理者（第二期）として業務に当たる。
- 2017～2021 年度：指定管理者（第三期）として業務に当たる。
- 2018 年から柏崎市「番神自然水族館事業」における自然観察指導を受託。
- 2022～2023 年度：指定管理者（第四期）として業務に当たる。
- 2024 年度から指定管理者（第五期）として業務に当たる。

●令和 6（2024）年度実績

- 営業日数：301 日
- 利用者総計：109,338 人（前年比 106.9%）
 - 宿泊利用者：6,045 人
 - キャンプ場利用者：1,370 人
 - 日帰り利用者：101,923 人
- 団体利用者（延べ人数）
 - 宿泊・キャンプ：98 団体、3,912 人
 - 日帰り：277 団体、5,271 人
- 地域別利用者数
 - 宿泊：県内 4,834 人・県外 1,211 人
 - キャンプ：県内 1,131 人・県外 239 人
- 体験プログラム参加者
 - 平日学校等団体：14,291 人
 - 週末一般：11,328 人

●主な業務内容

- 日常的な来場者への対応／年間約 10 万人
- 学校・保育園等団体の自然教室、林間保育の対応／プログラムの企画・実施
- 個人・家族向けプログラムの企画・実施
- イベント型プログラムの企画・実施
- 調査・研究
- 地域ネットワーク事業
 - ・移動児童館、子育て支援、地域と連携した体験プログラム、また地域資源を活用した野外活動の実施
- 養成・研修事業
 - ・児童育成指導者、児童厚生員、放課後児童支援員、ジュニアリーダーの養成及び育成
 - ・学生、生徒の施設実習や職場体験、総合学習の受け入れ実施
- スキー学習
 - ・スキー教室の実施
 - ・柏崎市との共催事業の実施
- 宿泊・キャンプ場運営、プラン企画・実施
- 飲食の提供、食育事業の推進
- 施設・備品の維持管理業務
- 公衆衛生・食品衛生管理

- アンケート実施：
 - 宿泊者・キャンプ場利用者・プログラム参加者など



- 行政指導なし

- スキー場営業日数：累計 68 日間
- スキー場利用者：8,633 人
 - 内団体数：29 団体、1,318 人
 - スキー教室参加者：379 人
- ペアリフト輸送人数：39,990 人
- シーズン中、第 3 日曜日「スキーこどもの日」
 - 小学生以下リフト無料 累計 117 人

- 手洗い・消毒は継続し、お客様が安心して利用いただけるよう食品衛生や公衆浴場衛生等、各種衛生管理や施設巡回、整備・維持管理・事故等に対する未然防止に努めると共に、体験プログラムをはじめとする施設の魅力を発信し利用促進に努めた。
- 次年度開館 30 周年に向け、各関係団体や全国児童館等との繋がりを深め連携強化を図った。
- 全体的に利用者は増加したが、夏の利用・猛暑対策、閑散期対策が課題である。
- 今年度はさらに、物価高騰や最低賃金上昇の影響が大きいと強く感じた。
- スキー場は、2 月大雪となったが順調に営業でき、昨年を大幅に上回る成績となった。

●一般向け体験活動（及びイベント）

週末や連休、家族や子ども会等団体向けに自然体験や工作体験を実施。また、80回継続中の「ガルルキャンプ」をはじめとする各種野外活動を通年実施している。さらに、なわないや和紙作りなど、地元文化体験も継続して実施した。



「GWあそびフェスタ」

恒例のイベントで、特に子どもの日に開催した“働く車”は、地元警察や消防署・自衛隊・郵便局の協力により、渋滞し混雑する状況となった。

「防災マルシェ」

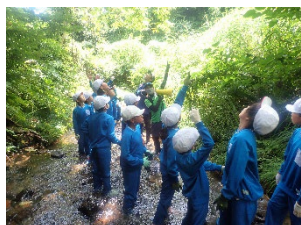
もしもに備え、防災を楽しく学ぶイベントを開催。火起こし体験・煙脱出体験・防災グッズや防災食作りにチャレンジした。



上記イベントの他、「カヌーまつり、夏まつり、秋の児童館まつり、スキー場感謝祭」等を実施した。

●平日学校団体向け活動

五感を使った体験活動を通じて身近な環境と関わりを持ち、好奇心や探求心を育み、自然への魅力や楽しさを発見する。その他、仲間づくり・創作・文化・食育・夜・雪の体験プログラムを実施。幼稚園保育園向け活動も通年実施している。



●柏崎市主催事業 体験業務受託

「番神自然水族館」

番神海水浴場にて、7月13日～8月14日の土日・祝日・お盆期間の14日間1日2回、定員は各回25名で海の生き物観察を開催した。悪天候で1日中止、計26回の体験業務で、参加者累計542名であった。1回当たりの平均参加者数は21名であった。地域別でみると、市内20%・県内31%・県外（主に長野、群馬）49%という結果であった。



●地域ネットワーク

新潟県児童館・児童クラブ連絡協議会事務局の活動や移動児童館事業、子育て支援、地域と連携しての体験活動を実施。また全国の仲間と連携し、各協議会の活動を実施している。

子育て支援では、幼児向けプラン「くるるクラブ」を年3回開催。デイキャンプ15名、水辺の生き物探し18名、パンリース作り35名で実施した。

地域連携として、地元の「狐の夜祭り・高柳雪まつり」を協力して施設内で実施した。

「ソトアソビソトゴハン」にいがたキャンプ市場活性化プロジェクト（県内各地域振興局）と共に、高柳地域を盛り上げる野外活動を開催。

こどもの城合唱団による「こどもまんなかコンサート」では、地元の少年少女合唱団と協力し、心躍る歌声を披露していただき、大盛況であった。

入場者：92名



●養成・研修

研修会開催や講師派遣、ジュニアリーダー育成、県内学生の施設実習受入れを毎年実施している。



●スキー学習

地元のスキー連盟と連携し、週末のスキー講習会や平日学校団体向けスキー教室を実施。また、柏崎市との共催で「市民スキースクールやスノーボードスクール」を開催した。

- ・市民スキースクール2回70名
- ・市民スノーボードスクール2回20名

